

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2025年度 パフォーマンス向上会議情報(2026年3月27日(金)分)

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。当発電所では、社内の会議体(パフォーマンス向上会議)において「不適合」と判定したすべての事案を本ホームページで公表しています。

2026年3月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【社内業務品質監査における指摘について】</p> <p>社内業務品質監査において、社内マニュアルに定められている品質目標の達成状況について、一部期間で評価記録が作成されていないとの指摘を受けた。</p> <p>2024年度の第1四半期から第4四半期までの品質目標の達成状況を、四半期ごとに評価し記録を残す必要があったが、当該グループでは第1四半期から第4四半期を一連で記録する様式であり、第1四半期から第3四半期までの承認を上書き保存していたことから、過去の記録が作成されていない状況になっていた。</p> <p>今後、是正を行うとともに、再発防止対策を検討する。</p>	G II	3月13日
2	<p>【社内業務品質監査における指摘について】</p> <p>社内業務品質監査において、社内マニュアルに定められている品質目標について、当該グループが属する上位階層の2025年度品質目標は明確に記載されていたが、グループとしての品質目標が記載されていないと指摘を受けた。</p> <p>当該グループでは上位階層の品質目標を自グループでの品質目標として設定していたが、客観的に確認できる様式等に記載していなかったもの。</p> <p>今後、是正を行うとともに、再発防止対策を検討する。</p>	G II	3月13日
3	<p>【軽油補給ホースからの軽油漏えいについて】</p> <p>当社社員と協力企業作業員が、燃料ディタンクへの軽油補給後に補給ホース内の残油をタンクローリー車へ戻す作業をおこなった後に、タンクローリーから補給ホースを取り外したところ、残圧があったと推定され、補給ホースのホース口から残油が少量噴出し漏えいした。</p> <p>漏えいした軽油については、側溝への流出や土壌への染み込みはなく、中和剤による処理および油吸着マットにより回収済み。</p> <p>今後、再発防止対策を検討する。</p>	G III	3月24日